

Bridge School 2014

報告書

(9月12日付)

**・代表挨拶**

平素より皆様に置かれましてはますますのご健勝のこととお喜び申し上げます。このたびは多くの方々の支援、ご協力をいただき、「Bridge School」を、2014年8月9日から8月12日にかけて開催いたしましたことをご報告申し上げます。実行委員会並びに参加者を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

当企画は今年で3年目を迎え、参加者は18人と去年よりも大幅に増えました。当初この企画は、「高校生のために進路情報を提供する」ことを目的としていましたが、それに留まることなく今年度は「自分の将来について考える」という進学の先を見据えたテーマを掲げました。

本年度のサマースクールでは、高校生は、大学生、地域の社会人と関わりあうことによって、日常では得られない情報、人とのつながりを獲得し、またそれらによって新たな可能性を見出したようでした。その詳しい様子はこの報告書と、サマースクール閉会式に用いられたムービーを見ていただければと思います。

最後になりますが、このサマースクールが3年目を迎えることができたのは、鳥取県の皆様のご支援のおかげです。鳥取や日本の未来に向けたこの企画を、来年も再来年も守り続けていくことができるように、今後とも変わらぬご支援とご協力をどうかよろしくお願いいたします。

Bridge School 2014 実行委員長  
田嶋 直輝

・開会式・アイスブレイク

開会式では鳥取県立農業大学校校長の爲計田先生と Bridge School 代表田嶋の挨拶、参加者の自己紹介を行いました。参加者に合宿への参加動機と目標を述べてもらうことで、それぞれの目的意識がより明確になりました。アイスブレイクでは高校生と大学生がチームを組み、その中で活発な交流が見られました。



・リベラルアーツセミナー

・地域社会学（越智祐介 香川大学 3年）

このセミナーは、地域活性化とまちづくりをテーマに開講されました。居住地域の商店街について調査するという事前課題が出され、受講生は、地元商店街の様子や歴史、所感などのまとめを自分なりに用意してきました。そして、近年まで売り上げを伸ばし続けた境港市商店街との比較を行い、地元商店街を活性化させる取り組みについて考えました。消費者としてではなく、商店街における出店者としての立場から議論をすることで、客観的に物事を見据える能力を身につけてもらえたと思います。

・教育学（遠山裕一郎 東京大学 修士1年）

このセミナーでは「教育とは何か？」というテーマのもとに教育の在り方について考えました。この講義では、まず教員免許取得のためのプロセスについて学習し、次に教科書の比較分析をしました。最後に模擬授業では受講生がそれぞれ英語の長文読解、社会の歴史などの授業を行いました。授業を受ける児童生徒をいかに惹きつけるかということを考えながら、普段の「授業を受ける」視点ではなく「授業を行う」という視点から教育について見つめ直しました。



・経済学（福田純平 神戸大学 3年）

経済学と言うと高校生は金銭的な話ばかりをイメージしがちですが、このセミナーではそうしたものととどまらない、人間の様々な行動の因果関係を「ゲーム理論」を使って理論的に考えていきました。講師が提示する、擬似相関、反証可能性、囚人のジレンマ、交渉ゲームといったテーマに対して、実際に話し合い頭を使ううちに次第に高校生が積極的になる姿が印象的でした。普段の生活の些細なことを経済学で読み解くことで、経済学に興味をもつきっかけになったようです。



・植物学（野村康之 京都大学 修士1年）

講師の専門分野である植物学・農学の話为例に、「大学」や「学問」がどのようなものか明らかにし、そこで重要になる「研究」についても話を掘り下げて講義を行いました。最終日にはフィールドワークも行い、実際に植物を観察しました。初めて知る植物の知識、高校とは異なる学びのスタイルを知り高校生たちは大きな刺激を受けていました。

・政治学（関口真司 慶応義塾大学 4年）

このセミナーでは、最初に法学部が具体的に何を勉強するのかということをはっきりとしました。そのうえで「騙されない、騙さない」というテーマに沿って、受講生はメディアの「常識」を疑い、自分で考え、確かめる姿勢を学びました。また「社会調査」について、講師の実体験を例に、間違った論証をして人を騙してしまう危険性を議論しました。



・文学（田中諒 北海道大学 4年）

このセミナーでは、まず好きな本を紹介し合い、読書に対する姿勢や興味について、受講生同士で価値観を共有しました。また、解釈が多岐にわたる作品に触れて、自分自身の読み方と他者のそれとの差異に気づき、読むことの多様性について考え、文学の面白さを実感していました。このセミナーを通して受講生は、作品の解釈が人それぞれに違うということは、文学に限らず大学の学問において重要だと学びました。



・数学（佐伯憲太郎 慶応義塾大学 修士1年）

1日目では、命題と論証の考え方を言いながらの問題を解いたり、実際にトランプを用いながら確率の問題を考えたりしました。また2回目では、「もしこの世に数字がなかったら」、「数字とは何か」ということを議論し、最終日には「暗号づくり」を行いました。セミナーを通して普段は意識することのなかった数字の存在、数学と生活との関連など、自分の身近にある数

学を学習しました。

### ・ 模擬講義



原子核物理学がご専門の下田正先生（大阪大学副学長）に、文系理系を問わず楽しめる物理学の講座をしていただきました。たくさんの実験器具に囲まれて、参加者はみな目を輝かせていました。残念ながら現在の高校では、授業時間数の関係から実験がカットされることがしばしばあります。結果として「与えられた問題」を解けるようにはなりますが、「未知の課題に挑戦する力（課題設定・発見能力）」は身に付き

ません。大切なのは、知識を実地に活かすことです。この能力こそが、研究においてもビジネスにおいても大切であるという下田先生のメッセージを受講生はしっかりと受け取りました。

### ・ 高校生・大学生のためのメディアリテラシー入門

大学では、読書などを通じて主体的に情報を入手することが求められます。自分にとって有益な情報を得るには、自分が何に興味を持っているかを正確に把握することが必要です。そして各情報媒体の特性を理解することが必要です。このセミナーではまずグループワークを行い、自分がどのようなことに興味を持っているかを明確にしたのち、新聞・雑誌・書籍といった活字媒体を実際に手に取り、それぞれの特徴について学びました。最後に、大量の雑誌・書籍の中から自分に合った一冊を各自が見つけ出しました。普段から何かに漠然と興味は持ちつつも、どのように知識を深めればよいか悩む高校生・大学生も多くいましたが、このセミナーを通じて足掛かりをつかめたようです。（協力:aura Book Community 日渡健介さん）



### ・ 座談会



1日目と2日目には、高校生と大学生がリラックスした雰囲気の中で、自由に語り合うことが出来る座談会が行われました。高校生にとって大学生と気軽に会話できる機会は貴重であり、進路や勉強の悩みや、将来の大学生活について語り合いました。2日目の座談会には地域の社会人の方もお招きし、“社会で働く”ということについてアドバイスをいただきました。「自分が本当にしたいことは何か、そしてそれを仕事に結びつけることはできるのか」という高校生の抱える悩みにも相談に乗っていただきました。



#### ・農業体験

この企画ではまず、爲計田先生に学校の概要説明をしていただき、そして、果樹、野菜、畜産などの生産現場を、学生や教員の方々に案内していただきました。鳥取県特産の二十世紀梨の栽培において「ジョイント仕立て」という効率的な方法が採用されていたり、近年注目を集める賀茂ナスなどの伝統野菜の栽培が行われていたりするという

ことです。また、ミニトマトおよびブドウの収穫、包装体験もさせていただきました。

#### ・タレントショー

3日目の夜、タレントショーが行われました。タレントショーとは特技を披露する場で、ダンスや演劇など、ときには会場全体を巻き込んだ出し物も見られました。これまで以上に仲間との距離が縮まりました。



#### ・閉会式

本当の最後の締めとして、閉会式が行われました。閉会式中、高校生参加者および大学生スタッフ全員が輪になってサマースクールの4日間を振り返りました。各自が期間中の変化やこれからの抱負を語り、決意を新たにしました。

#### ・ムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=p2K9GrtEebU>

QRコードより動画へアクセスできます。



**・ Bridge School 2014 実施要項**

名称	Bridge School 2014
主催	Bridge School 2014 実行委員会
代表者	田嶋直輝 大阪大学 2 年
協賛企業	(株)山陰合同銀行 (株)鳥取銀行 (株)新日本海新聞社 (敬称略・順不同)
後援	鳥取県 鳥取県教育委員会
日時	2014 年 8 月 9 日～8 月 12 日

**・ 参加大学生一覧**

田嶋直輝	大阪大学 2 年	廣江泰英	京都大学 3 年
小寺慶	大阪大学 3 年	野村康之	京都大学 修士 1 年
福田純平	神戸大学 3 年	徳永敦士	大阪大学 2 年
田中諒	北海道大学 4 年	戸國峻	大阪大学 修士 2 年
遠山裕一郎	東京大学 修士 1 年	笹田智樹	大阪大学 2 年
楮原航平	慶應義塾大学 修士 1 年	南尚吾	大阪大学 1 年
佐伯憲太郎	慶應義塾大学 修士 1 年	今泉優太	大阪大学 1 年
関口真司	慶應義塾大学 4 年	和田耕介	関西大学 3 年
松澤和徳	明治大学 3 年	越智祐介	香川大学 3 年
谷口未峰	筑波大学 3 年	今井あいか	鳥取大学 3 年
後藤友貴乃	上智大学 3 年	荻原友裕	鳥取大学 3 年